

# 40歳から“介護”も人生設計に 自分らしく生きる 介護すること・されること

介護を人生の必ず通る道として考える

無料

定員 120名様

(要申し込み)

[日時] 11月24日(土) 10:00~12:00

(開場 9:30)

[会場] 美浜文化ホール音楽ホール

(千葉市美浜区真砂5丁目15-2 美浜区役所隣り)

[対象]

これから介護者となる可能性のある方すべて  
介護される側となる可能性のある方すべて  
介護離職防止にかかわるすべての方 など

\* 基調講演① 「人生を大切に介護」  
社介護離職防止対策促進機構 理事 飯野三紀子

\* 基調講演② 「ヒトと情報をつなぐ場づくり」  
認知症わかり合いの会「和みかふえ」主宰 前澤弘子

\* 座談会 「自分らしく生きる 介護すること、されること」  
登壇者: 飯野三紀子、前澤弘子、芦原正勉(介護支援専門員)



著者 飯野三紀子

同日・同じ建物内で開催する「美浜区ウエルフェスタ」にて  
無料介護相談を実施します

※お申し込み方法は、裏面の【お申し込み方法】をご確認ください。

お問い合わせ TEL 090-9966-5683 (永棟) 090-4932-8478 (前澤)

メール Ckagayaki@gmail.com

主催: 地域で寄り添う社会を作るシンポジウム2018実行委員会  
後援: 千葉市/千葉市社会福祉協議会

高齢化・核家族化などにより、一人で介護を担っている方や介護と仕事の両立をする方などが増えています。また、介護うつや介護離職につながる方が今後、増加するといわれています。誰もが、介護をする側にも、される側にもなる可能性があります。今回のシンポジウムでは、「自分の人生を大切にする介護」について考えていきます。

## 【登壇者紹介】

### 飯野 三紀子 (いいのみきこ)

一般社団法人介護離職防止対策促進機構 理事。ウェルリンク株式会社にて「介護とこころの相談室」を立ち上げる。企業の人事部経験を経て、人材紹介会社で、キャリアコンサルタントとして従事。2000年に母と2人で叔母の介護と看取りを経験。その後、母親が認知症を発症、同時期に親友のうつ病介護が重なり会社員生活を断念。自身のキャリアを見直しフリーランスとして独立。現在は、要介護4の母を在宅介護しながら、働く人の「心の健康」と「介護と仕事両立」のための支援を行っている。5人の介護と4人の見取りを経験。  
著書「介護と仕事をじゃょうずに両立させる本」(方丈社)

### 前澤 弘子 (まえざわひろこ)

認知症わかり合いの会「和みかふえ」主宰。企業の社員研修担当時に、キャリアコンサルタント資格取得。その後、女性の働き方勉強会で介護離職問題を知る。2011年に母が脳梗塞で倒れ、認知症の父との同居が始まり、介護と仕事を両立。2014年に認知症わかり合いの会「和みかふえ」を立ち上げ、月2回、認知症の方や介護をする方、地域の方が集まる会を開催。

### 芦原 正勉 (あしはらまさかず)

有限会社銀座薬局 介護支援専門員。介護施設で介護士として勤務。その後、介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格を取得し、介護支援専門員歴7年。二児の親として育児中。

## 【お申し込み方法】

- ① FAXでのお申し込み方法 下表に必要事項を記入の上、この用紙をFAXしてください。

FAX番号 043-216-3891

申し込み代表者氏名	人数	連絡先電話番号

- ② メールでのお申し込み方法 メール本文に、①申し込み代表者氏名②人数③連絡先電話番号を入力し、以下のメールアドレスへ送付ください。

メールアドレス Ckagayaki@gmail.com

【お問い合わせ】 地域で寄り添う社会を作るシンポジウム2018実行委員会 事務局

TEL 090-9966-5683 (永棟) 090-4932-8478 (前澤)  
メール Ckagayaki@gmail.com